



何もかもが初めてです。1年生の学校生活。

校長 是枝 周二

新学年がスタートしてまもなく1ヶ月となります。どの学年の子どもたちもとても明るく、楽しそうに学校生活を過ごし、新年度のいいスタートが切れました。特に、4月10日に入学してきた1年生は、学校生活のすべてが初めてのことで、目をきらきら輝かせながら、全力投球しています。

13日の「1年生を迎える会」では、全校生のあたたかい歓迎を受け、初めての参観日、避難訓練、学校朝会を終え、27日には楽しみにしていた給食も始まりました。おいしい給食をしっかりと食べて、六年間で心も体もすくすくと成長していくことを願っています。



【1年生を迎える会】

子どもたちの安全を守る。

4月25日(火)は学校朝会と避難訓練があり、二つの行事の中で、自分の命や安全は自分で守るという話を四つしました。

1 登下校の安全について

新年度がスタートした日、登校中に車で連れ去られ、命を奪われるという悲しい、痛ましい事件がありました。子どもたちには、こんな事件の被害に遭わないよう、集団登校をしっかりとすること、下校も家の近くまで友達や兄弟と帰り、一人で帰らないこと等を話しました。

学校では、「㊦㊧ついていかない ㊨車や悪い誘いにのらない ㊩大声をあげる ㊪すぐに逃げる ㊫大人の人に知らせる」ということができるように指導をしています。

2 学校の外でも中でも交通ルールを守る。

昨年度、本校の児童が大けがをする交通事故が相次ぎ、交通ルールを守る大切さを指導しました。校内でも「廊下や階段は右側を歩いて通る」「わかくさ学級横の通路は、いったん止まって安全を確かめて通る」という約束があります。学校内外で交通ルールを守るようにお話ししました。

3 火災から身を守る。

一学期の避難訓練は、火災を想定しての訓練です。避難するときは、「㊭おさない ㊮走らない

㊯しゃべらない ㊰もどらない」を徹底させ、まず、安全な所に避難するよう指導しました。

4 水路に近づかない。

4月17日に暴風警報が出た日は雨も激しく降り、校区内の水路にはあふれんばかりの水がごうごうと流れていました。昨年悲しい事故がありました。水路には普段から近づかない、水路の近くで遊ばないということが大切です。かけがえのない子ども達の命を守るためにも、自分の安全は自分で守るという安全教育に取り組んでいきます。



【初めての給食に笑顔】